

# 令和 年度住宅用地 使用変更 申告書

廃止

令和 年 月 日

弟子屈町長 殿

所有者	住所氏名	
		印

弟子屈町

土 地				家 屋				
所 在 地 番	地 積 m <sup>2</sup>	※ 区 分		家屋番号	床 面 積 m <sup>2</sup>	用 途	家 屋 所 有 者	
		1	2	家屋調査番号		① 専住 ② 共住 ③ 併住	住 所	氏 名
		住 宅 用 地	非 住 宅 用 地		( )			
		住 宅 用 地	非 住 宅 用 地		( )			
		住 宅 用 地	非 住 宅 用 地		( )			

(注意) ※印欄は、記載しないでください。

付 近 見 取 図	
-----------------------	--

## 1 注意事項

申告書に記載をする前に次の事項をお読みください。

### (1) 申告義務者

この申告書は、1月1日現在弟子屈町に住宅用地(注1をご覧ください。)をお持ちの方で、土地登記簿又は土地補充課税台帳に所有者として登記又は登録されている方に提出して頂きます。

### (2) 提出場所

弟子屈町役場税務課

### (3) 提出期限

1月31日までです。

### (4) 前年度に申告された方で、その内容に変更がない場合には申告の必要がありません。

ただし、次のように前年1月2日以降において前年度の申告内容に変更がある場合又は新たに住宅用地となった場合には申告しなければなりません。

① 住宅用地の所有者が変わった場合……新しく住宅用地の所有者となった方が申告してください。

② 住宅用から住宅用地以外の土地へ変わった場合……前年度の所有者が申告してください。

③ 住宅用地の対象となる家屋の床面積及び用途の

一部に変更があった場合 ……前年度の所有者が申告してください。

④ 住宅用地以外の土地から住宅用地へ変わった場合……その年の1月1日現在の所有者が申告してください。

## 2 申告書の書き方

### (1) 「家屋番号」欄

上欄に登録した時の家屋番号を記載してください。

下欄に町で調査した時の家屋調査済証の番号を記載してください。

### (2) 「延床面積」欄

家屋全体の床面積を記載してください。ただし、(注1)の併用住宅にあっては、全体の床面積以外に居住部分の延床面積を括弧内に記載してください。

### (3) 「用途」欄

家屋の該当する用途の番号を記載してください。

### (4) 「付近見取図」欄

住宅用地の所在地及び付近目標物等を簡略に記載してください。なお、住宅用地が数筆あるため書ききれない場合には別紙に記載して添付してください。

### (5) 「家屋所有者」欄

住宅用地の所有者と家屋の所有者が異なる場合に、家屋の所有者の住所・氏名(フリガナ)及び連絡先をお書きください。ただし、区分所有者の家屋にあっては、「氏名」欄に「区分所有」と記載してください。

#### (注1)住宅用地

(1) 住宅用地とは、居住の用に供されている次の用途の家屋の敷地をいいます。

① 専用住宅(1棟の家屋の全部が居住の用に供されている家屋をいいます。)

② 共同住宅(アパート、寮、寄宿舎等の家屋をいいます。)

③ 併用住宅(1棟の家屋の中に居住部分と事務所、店舗、工場等がある家屋をいいます。)

(2) 適用範囲は、家屋の延床面積の10倍以内の地積を限度とします。

ただし、併用住宅については次の階層区分ごとに適用します。

4階建以下のもの……(ア) 1棟の家屋の延床面積のうち、居住部分が1/2以上である場合には100%住宅用地とみなします。

(イ) 1棟の家屋の延床面積のうち、居住部分が1/2未満1/4以上である場合には50%を住宅用地とみなします。

#### (注2)住宅用地が2筆以上の土地にまたがっている場合

関係地番を明示した図面上に家屋の位置を記載して別紙(様式は随意)として添付してください。

#### (注3)書類の提示又は提出

(注2)以外に、住宅用地の認定上必要と認める書類の提示又は提出を求めることがあります。